

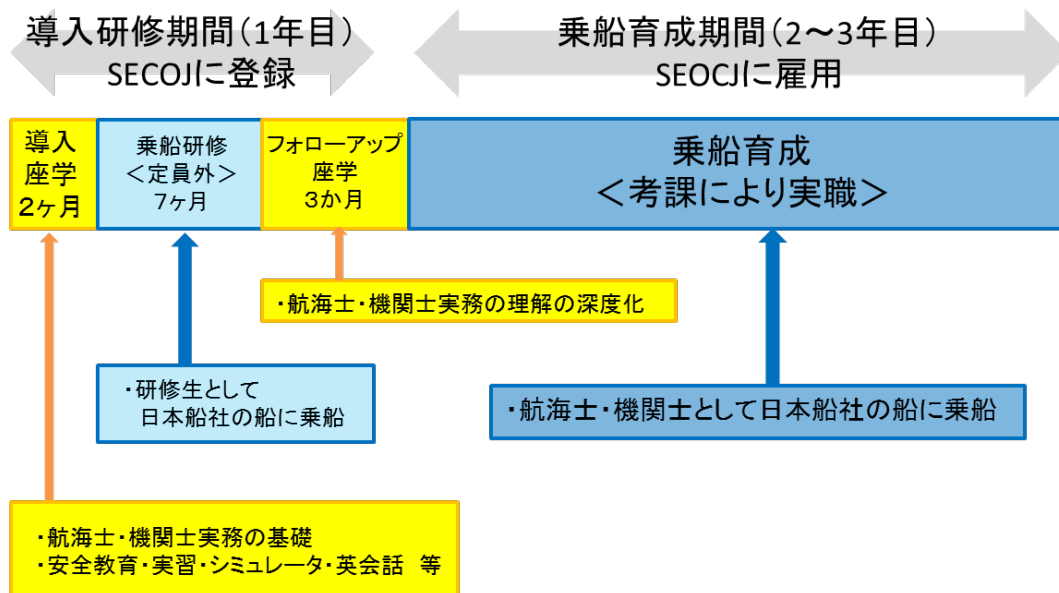
7・6 外航日本人船員（海技者）の確保・育成スキーム

7・6・1 スキームの概要

外航日本人船員（海技者）確保・育成スキーム（以下「スキーム」）は、国土交通省、全日本海員組合、当協会および国際船員労務協会（平成 22(2010) 年 7 月より参画）で構成する「外航日本人船員（海技者）確保・育成推進協議会（以下「協議会」、名簿ご参照）」が運営し、日本船員福利雇用促進センター（SECOJ）が実施団体となっている。

本スキームは、船員教育機関の卒業生等を対象に、実際に海運会社が運航する外航商船での実務経験を通じて、即戦力として活躍できる所謂海技者としてのキャリア形成を図ることを目的としており、定員 20 名程度、期間は原則最長 3 年とし、導入研修 1 年とその後の乗船育成期間で構成される。導入研修では、海技大学校での座学講習（前期 2 カ月・後期 3 カ月、計 5 カ月）と前期・後期座学の実施される乗船研修（7 カ月）が行われ、外航船舶職員の実務に必要な基礎知識を習得する。導入研修における乗船研修で育成要員は研修生（定員外）として外航商船に乗船し、船長等の評価を受ける。1 年終了時点で協議会の下に設置した進路指導委員会（名簿ご参照）が 2 年目以降に船舶職員として実職が執れるか考課し、合格した者のみが乗船育成期間に移行する事が出来る。乗船育成期間では、原則 3 等航海士・機関士として外航商船に乗り組み、実務経験を積んで外航船舶職員としての就職を目指すこととしている。

【育成スケジュール】



育成期間を通じて評価・指導を行うとともに、積極的な就職斡旋を行い、日本人船員（海技者）としての早期就職を目指す。

【関係者名簿】（平成24（2012）年3月末現在）

<外航日本人船員（海技者）確保・育成推進協議会>

委員：五十嵐 誠	日本船主協会 副会長
石川 尚	日本船主協会 企画部長
栢原 信郎	国際船員労務協会 理事
井上登志仁	国際船員労務協会 常務理事（事務局長）
森田 保己	全日本海員組合 国際局長
浦 隆幸	全日本海員組合 国際局外航部長
河村 俊信	国土交通省 海事局 海事人材政策課長
古坂 裕彰	国土交通省 海事局 海事人材政策課 海事振興企画室長
オブザーバー：久米 洋司	国土交通省 海事局 海事人材政策課雇用対策室長
幹事：宇佐美 和里	日本船主協会 企画部課長
姥 裕彰	国際船員労務協会 事務局員
木下 友喜	全日本海員組合 国際局外航部
佐合 俊久	国土交通省 海事局 海事人材政策課 海事振興企画室 外航船員対策係長

事務局：日本船員福利雇用促進センター（SECOJ）

<進路指導委員会>

委員長：五十嵐 誠	日本船主協会 副会長
委員：田中 俊弘	日本船主協会 労政幹事長 （日本郵船 人事グループ グループ長代理）
浦 隆幸	全日本海員組合 国際局外航部長
井上登志仁	国際船員労務協会常務理事（事務局長）
増田 恵	日本船員福利雇用促進センター参与

7・6・2 スキームの運用見直し

近年、関係者から本スキームに関する運用上の問題点等の指摘があり、このため、協議会において、平成23(2011)年3月より運用見直しの検討を行い、同年12月、問題点およびその改善策等を整理、7期生より新たな運用にて募集活動を行っている。

7・6・3 育成要員の現状

平成24(2012)年3月末時点の育成要員の現状は以下の通りである。

<1期生：平成19（2007）年10月育成開始>

11名（航海9名／機関2名）により育成を開始。外航船社に6名（航海）、その他（内航船社、陸上企業等）に3名が就職。2名が離脱。

1期生は全員がスキームを終了。

<2期生：平成20（2008）年10月育成開始>

17名（航海15名／機関2名）により育成を開始。外航船社に11名（航海10名、機関1名）、その他（教育機関）に1名が就職。1名が離脱。

航海士3名、機関士1名がスキームでの育成を継続中。

<3期生：平成21（2009）年10月育成開始>

17名（航海15名／機関2名）による育成を開始。外航船社に5名（航海）、その他（内航船社、教育機関等）に6名が就職。1名が離脱。

航海士5名がスキームでの育成を継続中。

<4期生：平成22（2010）年10月育成開始>

17名（航海15名／機関2名）による育成を開始。外航船社に3名（航海）、その他（内航船社等）に3名が就職。

航海士9名、機関士2名がスキームでの育成を継続中。

<5期生：平成23（2011）年10月育成開始>

14名（航海11名／機関3名）による育成を開始。外航船社に2名（航海・機関各1名）、その他（内航船社）2名が就職。1名が離脱。

航海士7名、機関士2名がスキームでの育成を継続中。

<6期生：平成24（2012）年10月育成開始予定>

平成24（2012）年10月よりスキームによる育成を開始する6期生については、平成23（2010）年9月に第1回の面接を行ったが、まだ定員を充足していないことから、今後追加募集を行う予定。

7・6・4 平成23（2011）年度の主な活動

平成23（2011）年

- | | |
|-------|---------------------------------------------------------------------|
| 4～6月 | 事務局(SECOJ)を中心に5商船高専、商船系大学などの学校を訪問し、
教員および学生・生徒に説明（船協事務局も可能な限り同行） |
| 7月29日 | 配乗船募集説明会（於 今治国際ホテル） |
| 8月3日 | 第11回協議会（於 海運ビル、平成22(2010)年度決算等） |

8月3日 配乗船募集説明会（於 海運ビル）
9月8日～9日 5期生採用補充面接、6期生採用面接（於 海運ビル）
9月13日 4期生指導面接（於 海技大学校）
9月29日 第17回進路指導委員会（於 海運ビル、2期生育成継続評価等）
10月3日 5期生出帆式（於 海技大学校）
2～4期生平成23年度乗船育成開始、5期生前期座学開始

平成24（2012）年

3月12日 第18回進路指導委員会（於 海運ビル、2期生の継続審査等）
3月14日 第12回推進協議会（於 海運ビル、年度予算案、運用見直し案等）